

新商品アスカマン21のご紹介

粒 状

アスカマン 21 による菌耕農法

使用方法の基準

1. 施 用 量 (10a 当たり、露地・ハウス内)
5袋(100kg)但し、3年以上施用した畑及び茶園には4袋(80kg)散粒機などで均一に散布し、有機物と一緒に鋤きこむ。
2. 使 用 法
 - (ア) 緑肥、わら、モミガラ、菌茸類の廃オガ、バーク、堆肥などの繊維質(菌の餌)と一緒に15cm~20cm鋤きこむ。
 - (イ) 堆肥やモミガラは秋か春に撒き、春に緑肥(ライ麦、エン麦、ソルゴー)を倒し、一緒に鋤きこむ。
 - (ウ) わら、モミガラなど乾燥した繊維質は腐熟用チツソが必要。特にハウス内はタップリ灌水する。
 - (エ) ①、②の場合は2週間以内に播種・定植可能。③の場合は1ヶ月以内に播種・定植可能。
 - (オ) 肥培管理は慣行どおり。但し、2、3作目ぐらいから2、3割減肥する。
 - (カ) 石灰チツソ、土壤消毒剤は使用しない(菌が傷む)。
3. 繊維質の投入量
 - (ア) ホウレンソウ、レタス、キャベツ、大根など作期が3、4ヶ月以内のもの:緑肥3、4t(腐熟用 N 不要)とアスカマン堆肥2t、又は、わら300kg+モミガラ300kg(腐熟用 Nとして尿素6kgか硫酸14kg又はコメヌカ130kg 添加する)。
 - (イ) ナス、トマト、イチゴなど作期が半年程度のもの:緑肥4、5t(腐熟用 N 不要)とアスカマン堆肥2t、又はモミガラ500kg(不熟用 Nとして尿素6kgか硫酸14kg又はコメヌカ130kg 添加する)。
 - (ウ) こんにゃく、アスパラガス、茶、バラ、果樹類など多年生又は永年性のもの:こんにゃく、アスパラガスは茎葉を刻んだものと、アスカマン堆肥2t、又はモミガラ500kg(腐熟用 Nとして尿素6kgか硫酸14kg、又はコメヌカ130kg 添加する)。茶は1、2、3番茶摘み後の枝葉を切り落とした直後又は秋の整枝した直後の茎葉に、アスカマン堆肥2tか、ソバ殻又はモミガラ800kg(腐熟用 N4kg 添加)と植物油粕、魚粕など500kg(土壤中ではほかし有機肥料となる)。果樹類は生の剪定枝を刻んだもの約1tとアスカマン堆肥2tか、ソバ殻又はモミガラ800kg(腐熟用 N4kg 添加する)。
4. アスカマン堆肥の作り方
 - ・牛舎へ散布して悪臭を除去する方法
 - ① 牛糞の生堆肥に重量比で3割のモミガラを混入し水分65%程度とし、その混入品1t当たり「アスカマン21」を15kg 均一に混合、よく切り返して糞の塊を壊し10t以上の山に堆積する。野積みの場合はシートをかける。
夏は2、3ヶ月、冬は5、6ヶ月で畑に投入できる。
 - ② 牛舎で使用する場合はアスカマン21を敷料(わら、モミガラ、おが屑など)と混ぜるか、あらかじめ牛舎のコンクリート上に撒いてその上に敷料を散らす。使用量は①の2/3程度でよい。
 - ③ ゴルフ場の芝・チップの堆肥化やリサイクルにも有効。芝養成地の近くに穴を掘り、刈芝、チップ、コメヌ

力などにアスカマン21を混合(①を準用)し、土をかけ踏み込む。できた堆肥は目土や芝の倍土として利用できる。(エアレーションの直後にグリーンやフェアウエイに散布すると、枯れた芝根(サッチ)の分解が早まる)。

効 用

- 1、 有機物(緑肥・わら、モミガラ・パーク・堆肥など)の分解促進。
- 2、 緑肥鋤き込み時に同時施用すると、有害成分など出さないですばやく腐熟するので、2週間以内に播種・定植できる。
- 3、 有機物と同時施用すると土中で堆肥化され、効率よく利用される。
- 4、 有機物の腐植と土の粘土が一緒になり、微粒子の団粒が沢山できる。
- 5、 保肥力(減肥できる)・保水力・透水性が改善される。
- 6、 植物粕・魚粕・有機物などと同時施用すると土中で「ボカシ有機肥料」となる。
- 7、 土壌中の微生物の菌相が大きく好転し、作物の生育に適した環境となるので、連作障害の被害が問題にならなくなる。
- 8、 未熟な繊維質を分解する初期にも、根を傷める物質が分泌されないので、発根が促進され、毛根が増え、根張りがよくなり、作物が効率よく養分を吸収し、光合成が旺盛となる。
- 9、 植物体が健全になるので異常気象に耐え、病気が発生しにくくなる。
- 10、 線効果がある虫が嫌う酪酸が分泌され、活動が低下するので、線虫の抑制に効果がある。
- 11、 連用すると葉菜類の硝酸塩が減少する。
- 12、 甘味が増し、美味しく、日持ちがよくなるなど、品質のよい農産物がより多く収穫できる。
- 13、 有機質との同時施用により、土壌の条件を改善し、地力を維持・向上させて、農産物の安定生産を実現し、環境に優しい、画期的な持続性農法となる。
- 14、 畜舎に散布して敷料と混合すると消臭と堆肥化を促進する。悪臭のストレスから解放され家畜の健康が増進する。

表 示

- | | |
|----------------|--------------------|
| ① 土壤改良資材の名称 | アスカマン21 |
| ② 土壤改良資材の種類 | 嫌気性微生物・ゼオライト |
| ③ 表示者の氏名又は名称 | 有限会社 アスカ |
| ④ 製造事業所の名称 | 日東粉化工業株式会社 福島工場 |
| 及び所在地 | 福島県田村郡滝根町大字神俣字五林平3 |
| ⑤ 正 味 量 | 20kg |
| ⑥ 原 料 | 枯草菌・嫌気性菌・沸石 |
| ⑦ 陽イオン交換容量 | 100g当たり160mg当量 |
| ⑧ 水素イオン濃度 (PH) | 7.6 |
| ⑨ 用 途 (主たる効果) | 有機物の分解・団粒化促進 |
| ⑩ 施 用 方 法 | 有機物(繊維質)と一緒に鋤き込む |

使用上の注意

- ① 本品は無害ですが食べられません。
- ② 保管は高温多湿を避け、涼しい場所で、開封後は密閉してください。
- ③ 菌は胞子の状態にしておりますので、袋の中で未開封にしてある限り長期保存できます。

キャリアー(ゼオライト)に含まれる成分

珪 酸 (SiO₂) 68.7
アルミニウム (Al₂O₃) 11.6

石灰 (CaO) 2.7
マグネシウム (MgO) 0.5
ナトリウム (Na₂O) 1.3
カリウム (K₂O) 1.9
鉄 (Fe₂O₃) 2.2
磷酸 (P₂O₅) 0.4

**環境に優しい「菌耕農法」で
省力・楽しい農業をしましょう！**